

報告事項名 特別支援学級運営充実検討委員会の設置について

特別支援教育課

特別支援学級運営充実検討委員会の設置について

1. 現状

- (1) 特別支援教育への理解浸透に伴い、特別支援学級在籍児の増加（約2.7倍）
H19：1,052名（小学校：772名，中学校：280名）
R3：2,874名（小学校：2,149名，中学校：725名）
- (2) H17から全ての学校に、特別支援教育コーディネーターを指名するとともに校内委員会を設置し、全校で支援する体制を整備
- (3) 特別支援教育巡回相談員による相談や要請訪問による専門家の派遣など、学校支援体制を整備

2. 課題

学級数や児童生徒数の増加に伴い、特別支援教育の経験を有する教員の増加や理解が深まる一方、初めて特別支援学級を担当する教員も多くなっており、

- (1) 「授業における専門性の向上」や
「生徒指導における指導力の一層の向上」
- (2) 学級経営に対する「相談支援の充実」や「校内支援体制の強化」
などが課題

3. 設置目的

徳島県における特別支援学級の現状と課題を整理し、児童生徒一人ひとりの「実態」や「障がい特性」に応じた支援の在り方や、「サポート体制」充実のための方策等を策定する。

4. 構成委員（別紙参照）

- 学識経験者、教育機関・学校関係、障がい福祉関係、保護者 10名
- ヒアリング委員として、特別支援学級卒業生 2～3名

5. 設置期間

令和4年2月1日～令和4年3月31日

6. 今後のスケジュール

- (1) 令和3年度
 - 検討委員会を3月までに3回程度開催
 - 第1回検討委員会 令和4年2月1日（火）午前10時～正午
 - 報告書の作成・提出
- (2) 令和4年度
 - 報告書に基づいた取組の進捗状況を確認するとともに、
更なる充実を図るための委員会を設置し、2回程度開催

特別支援学級運営充実検討委員会 委員名簿

区分	所属団体名称等	委員	
		役職	氏名
1	学識経験者	徳島文理大学	教務部長 富樫 敏彦
2		鳴門教育大学発達臨床センター	所長 小倉 正義
3	教育機関 学校関係	徳島県特別支援教育研究会	会長 井形 啓二 (阿波市立久勝小学校)
4		特別支援学級担任(小学校)	教諭 藤本 景子 (鳴門市第一小学校)
5		特別支援学級担任(中学校)	教諭 橋口 由佳 (藍住町立藍住中学校)
6		特別支援教育コーディネーター	教諭 久原 有里 (東みよし町立加茂小学校)
7	障がい福祉関係 保護者	社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団 「ふらっとKOKUFU」	総括管理者 清重 健次
8		徳島県相談支援専門員協会	副代表 松下 義雄
9		社会福祉法人 徳島県手をつなぐ育成会(保護者)	阿南市手をつなぐ育成会 会長 島 優子
10		池田支援学校美馬分校(保護者)	PTA理事 香川 育子
計	10名		